



アニュアルレポート2019

2019年度 (2019年4月1日～2020年3月31日)

特定非営利活動法人

人間中心設計推進機構

2019 Annual Report
Human Centered Design
Organization

目次

理事長挨拶	1
HCD-Netのミッション・中期目標とその考え方・会員数推移	1
広報社会化事業領域	3
教育事業領域	4
ビジネス支援事業領域	5
研究事業領域	6
関西支部	7
HCD専門資格認定センター	8
アワード表彰委員会	8
イベント一覧	9
HCD-Net フォーラム	10
主なセミナー	11
決算報告 2019年度 活動計算書	12
2019年度 貸借対照表／財産目録	13
2019年度 計算書類の注記	14
組織図／機構役員一覧	15
賛助会員の皆さま	16
主要関連団体	17

理事長挨拶

特定非営利活動法人 人間中心設計推進機構(HCD-Net)は、近年さまざまな領域において求められる「人間を中心に据えたデザイン活動」の「スキルセットやマインドセット」を組織に醸成するための「専門家の育成」と「本領域の啓発活動」を軸に、多様な事業を展開しています。

特に、当機構を代表する事業である「人間中心設計専門家認定制度」は2020年において12年目を迎え、1,000名近く(※)の専門家・スペシャリストを世に送り出すまでとなりました。

現在、国内外ともに激変する環境において、企業経営や行政・自治体、NPO・NGOなど各種組織がますます複雑で厄介な課題を抱える中で、これらの課題の設定と解決策の探究を繰り返す「人間中心設計(HCD)」の考え方とその実践は、多くの方々から期待と関心が寄せられています。

当機構では、皆さまの期待と関心をしっかりと受けとめ、あらゆる立場にある方々の創造力とその共創を存分に引き出しながら、広く社会へと浸透していくための活動を、さまざまな団体との協業を通じて推進してまいり所存です。

皆さまからのご支持やご支援と、積極的なご参加を心よりお願い申し上げます。

特定非営利活動法人 人間中心設計推進機構
理事長
篠原稔和

※：2019年(2018年度末時点)の資格保有者は計985人(専門家：632人/スペシャリスト：353人)

HCD-Netのミッション・中期目標とその考え方・会員数推移

ミッション

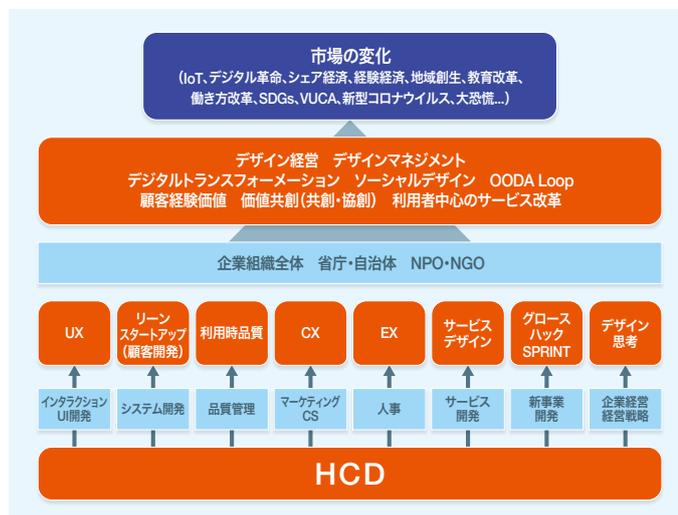
HCD-Netは、HCD(Human Centered Design:人間中心設計/人間中心デザイン)のあり方を追求する特定非営利活動法人(NPO)です。「HCDに関する学際的な知識・経験を集め、産学を超えた人間尊重の英知を束ね、HCDを導入し、活用するために必要なさまざまな知識や方法を適切に提供すること」をミッションとして掲げています。

このミッションの実現を通じて、市場の変化に対峙している産業界全般から行政全般やNPO・NGOに至るまでのあらゆる領域に対して、「HCDの価値」を普及していくことを目指します。「HCDの価値」とは、『HCDとは、モノ・コトに対して「利用者視点」と「共創」によって、「問題の設定」と「解決策の探求」を「繰り返すこと」を中核としたさまざまな領域に適用できる「方法(基本プロセス+手法)」と、その実践の前提となる「捉え方・考え方(マインドセット)」のこと』(HCD基礎知識認定検討WG)をいいます。そして、多くの人々が便利に快適に暮らせる社会作りにも貢献するとともに、経済の発展にも寄与し、豊かでストレスの無い実りある社会の実現を目指してまいります。

中期目標(2020-2022)とその考え方

HCD-Netが持つ付加価値(HCD価値)は、現在、さまざまな分野と専門領域へと広がりを見せています(図A)。その対象となる各領域では、明示的にHCD価値をうたう領域もあれば、直接的には言及されていない領域もあります。例えば、企業経営や経営戦略の分野で受け入れられている「デザイン思考」の領域では、HCDを、「新しい解決策を生み出すために必要不可欠な要素」として重要視しています。

また、HCD-Netが2008年から開始した「人間中心設計専門家認定制度」(人間中心設計専門家の認定制度)への受験者数の増加や、その受験者の皆さんの所属される業界や業種の様子から、HCD価値はさまざまな領域からの関心を反映していることがよく分かります。まさに、急激な「市場の変化」の中にあって、持続的な改善や改革のための活動や事業を進めていくためには、も



図A. HCD価値の広がり

はや本領域の理解、すなわちHCD価値の理解なくしては進むことができないとまで言えるでしょう
 こうした期待の集まる中、2020年度は、3年間の中期目標を掲げて活動を開始することになりました。

【HCD-Netの中期目標(2020-2022)】

1. 「HCDを活用すべき人達・コミュニティとの連携」に向けた関連分野から注目の集まるコミュニティ形成
2. 各種業界や各種組織における「HCD専門職」としての地位の確立
3. 個人会員および賛助会員の満足度の向上
4. 機構組織運営の一層の透明化と永続的な活動に向けた基盤作り
5. 事業および運営のメンバー・スタッフの補強と育成

ここでは、冒頭に掲げた2つの目標について解説いたします。一番目に掲げている『「HCDを活用すべき人達・コミュニティとの連携」に向けた関連分野から注目の集まるコミュニティ形成』は、2018年度に掲げた、私たちの存在意義(レゾナードール)を定めていくための活動テーマからの継続的な目標です。

HCD-Netの関係者が持つ「実践的な探求&研究マインド」としての研究活動を核として、これまでHCD-Netが培ってきた実践に役立てられる存在を証明する「専門家・プロフェッショナルの資格認定」の諸活動と、その資格認定にも紐付く体系的なスキルセットや各種の手法などを学ぶための「初学者・専門家の基礎教育」の諸活動は、HCD価値が広がり続ける中において、当機構の活動が「オーセンティックな存在(本物として信頼できる存在)」として証明されるための大事な基盤となっています。

これらの活動をベースとしながら、常に各種のテーマが生まれては発展する流れの中で、新しい話題やトピックスを交わし合える「プロのナレッジ共有の場」としての機能は、これまで私達が新しい仲間を迎えたり、新規領域での活躍の場に繰り出したりしていく上で、常に重要なエンジンとなっており、今後もしっかりとその循環のサイクルを維持・拡大させていきます。

二番目に掲げた『各種業界や各種組織における「HCD専門職」としての地位の確立』は、2020年度に新たに掲げる活動目標です。そもそも「専門職(profession)」という言葉は、生計を立てる手段であると同時に、正式な知識をもたらすエージェント(代理人・仲介者)として機能することをいいます。また、正式な知識の体系を有する専門領域によって、専門的な職業として差別化されている状態でもあるのです。そして、この「専門職」を業界として確立するためには、特定の「職業の出現」から「専門職者団体の設立」や「職業訓練校の確立」を経て、専門職者が従うべき「倫理綱領や行動規範」を確立することによって成立します(H. L. Wilensky, The professionalization of everyone?, 1964)。

そのことから、私達「HCD専門職」としての現況は、「HCD」といった「職業の出現」から、専門職者団体としての「HCD-Netの設立」、各種の大学や専門学校でのカリキュラムの成立など、まさに専門職化への途上にあるのです。

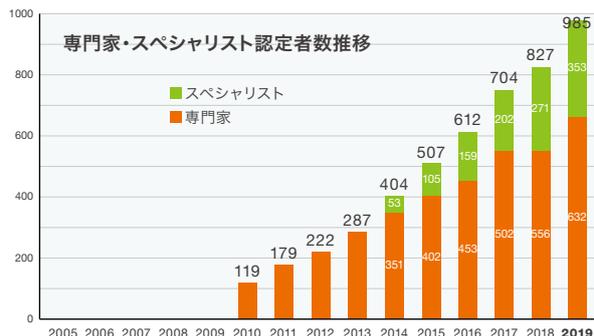
そこで、今回の中期目標では、「HCD専門職」を市場で確立するために、事実上の知識体系である「人間中心設計専門家認定制度」とそのベースとなる「HCD専門資格コンピタンスマップ」を基盤に、さらに広範な領域に適用することを狙った「HCD基礎知識の体系の確立」と「HCDにおける「倫理綱領」と「行動規範」の確立」を目指してまいります。

なお、これらの中期目標の達成に向けて、2020年度からの各年度では、各事業部・委員会・センターの諸活動からの個々の重点課題を重視しながら、目標を通じて成し遂げるための「あるべき姿」、「成し遂げたい姿」を描き出し、その姿に至るための具体的な指標(定量目標・定性目標)を設定しながら活動を開始いたします。

どうか本機構の主旨や諸活動に対し、より一層のご理解と叱咤激励を賜りながら、より多くの皆さまに積極的にご参加いただくことを心よりお願い申し上げます。

会員数と認定者数(累計)の推移

HCD-Netでは会員数、専門家/スペシャリスト認定者数共に年々増加しています。2019年度には新たに135名が会員になり、会員数の累計は合計で830名になりました。人間中心設計推進機構認定人間中心設計専門家とスペシャリストの推移(累計)は2019年度時点で専門家が632名(昨年度比+76名)、スペシャリストが353名(昨年度比+82名)、合計985名(昨年度比+158名)になり、堅調に推移しています。





広報社会化事業領域

広報社会化事業部では、HCD-Netの広報活動および新しい層への認知獲得を中心とした活動を行っています。

2018年度の篠原理事長就任に伴い新生HCD-Netが掲げたビジョン「プロ達のアレッジ共有の場としてのHCD-Net」に基づき、従来までの広報活動とサロン運営を中心とした活動に加えて、2018年度から新たにHCD-Netの新しいマーケティングの活動を開始し、2019年度にはこれらの施行をスタートしました。まだ実験段階の施策もありますが、実施の知見をふまえて2020年度にはさらなるチャレンジを行っていきます。

また、アワード再起動に伴い、アニュアルレポート、アワード事例を基にしたケーススタディコンテンツの作成も開始しました。アニュアルレポート、ケーススタディ等の成果の刊行については、来年度以降も定期的に発刊できるよう体制を構築していきます。

※：事業部委員についてはサイトをご覧ください <https://www.hcdnet.org/organization/organization/hcd-975.html>

2019年度の活動

● マーケティング活動

【HCD/UXなんでも相談室β版（※）】

会員の皆さんにもご協力いただき、2018年度に企画した質問箱をベータ版として実施しました。本年度の実施の経験を活かし、次年度以降も活動を展開していく予定です。

※：<https://www.hcdnet.org/hcd/column/hcd-1384.html>

● 外部出展

【Designship出展】

・幅広いデザイナーへのHCD-Netの認知獲得のために、日本最大規模のデザインイベントDesignshipにて、ブース出展を行いました。二日にわたるイベントにおいて、これまでにはなかった新しい接点を獲得することができました。

【ET/IoT2019 人間中心フォーラム開催】

・エンジニアへのHCD-Net認知獲得のため、組込業界の国内最大規模のイベントET/IoT2019にて、人間中心フォーラムを開催しました。100名を越す参加をいただき、HCD-Netの認知向上に寄与しました。

【HCD-Netサロン】

- ・子どものUXデザイン～子どもを対象とした調査について考える～(2019/11/15開催)
- ・HCD AWARD2019年最優秀賞『動機のデザイン』発案者にいろいろ聞いてみよう！(中止)

【出版】

- ・アニュアルレポート
発刊がストップしていたアニュアルレポートを再開しました。今後定期的に発刊を行っていく計画です。
- ・HCDライブラリー第7巻 人間中心設計における評価
HCDライブラリー編集委員会活動として、「人間中心設計における評価」を出版しました。



ET/IoT2020 人間中心フォーラム
上野学氏（ソシオメディア株式会社）による基調講演



教育事業領域

教育事業部のミッションはHCD/UXDに関する知見の体系化、およびその教育を受ける機会を提供することです。ある程度まとまった知識・学び方などを伝える体系的セミナーを企画・運営しています。またHCDの普及・啓発に携わる方々を後押しする活動も行っています。

※: 事業部委員についてはサイトをご覧ください <https://www.hcdnet.org/organization/organization/hcd-975.html>

2019年度の活動

● 体系的セミナー

体系的に学ぶ機会として、東海地区ではUXデザインのシリーズセミナーとその前後をサポートするセミナーを実施しました。

- ・「UXデザイン概論」(UXデザイン連続セミナー Step 0) 安藤昌也氏
- ・HCD-Net 東海「UXデザイン連続セミナー(全5回)」井登友一氏
- ・「プロトタイピングとインタビュー実習」井登友一氏

東京地区ではHCDの専門家を目指す方、および守備範囲を広げたい専門家向けに、HCD専門資格コンピタンスを軸としたセミナーを開催しました。

- ・HCD専門資格コンピタンス知識編「ユーザー調査・概論」太田文明氏、吉田実央氏
- ・HCD専門資格コンピタンス知識編「ユーザビリティ評価・概論」伊藤泰久氏、人見幸香氏
- ・HCD専門資格コンピタンス知識編「ユーザーによる評価 ～コンセプト検証～」伊藤泰久氏、坂口和敏氏

また、ユーザー要求を実現するために重要な情報アーキテクチャーに関するセミナーを、入門編と演習編に分けて開催しました。

- ・「理解のデザイン ～情報アーキテクチャ設計入門～」長谷川敦士氏
- ・「情報構造の設計・演習」伊原力也氏

東海地区、東京地区とも、ほとんどのセミナーが満席になるなど、HCD/UXDへの期待を感じています。各講座開催にあたっては、講師やチューターの方々、会場提供企業・大学の方々にも多大なご協力をいただいています。皆さんと力を合わせて盛り上げているところです。

● 普及啓発活動

HCDの普及・啓発に携わる方々を後押しするための教材を作成している講師拡大ワーキンググループ(WG)では、「人間中心設計入門編 - お客様と接する方々へ」のバージョン1を手引書とともに公開しました(※)。また普及活動のためのイベントも開催しました。

- ・「HCD広めたい人 Meetup vol.4」
- ・「HCD - 人間中心設計」入門セミナー in 福岡～人間中心設計の「基本」をセミナー形式で学ぶ～」中村隆俊氏

2019年度は新しい試みとして、オンラインセミナーを開催しました。リアルタイムストリーミングは無料配信、アーカイブは有料配信しました。

- ・「ユーザビリティテスト入門～はじめの一步」和井田理科氏

※: https://www.hcdnet.org/hcd/column/materials_01/hcd-1307.html



ユーザー調査・概論



UXデザイン連続セミナー



理解のデザイン

ビジネス支援事業領域

ビジネス支援事業部はHCD/UXDのビジネスの現場への導入・浸透を推進し、この領域に従事する専門家の活動を支援する"場"として機能することをミッションとしています。当事業部は「経営層支援委員会」、「中間層向け(+現場向け)支援委員会」、「関連団体連携委員会」、「利用品質メトリクス委員会」で構成されています。

※: 事業部委員についてはサイトをご覧ください <https://www.hcdnet.org/organization/organization/hcd-975.html>

2019年度の活動

【経営層向け支援委員会】

経営層へ向けたHCD導入を支援するためのガイドラインをまとめ、ET & IoT Technology 2019のカンファレンスでは「新規事業(イノベーション)開発を成功に導く3つの提言～HCD専門領域との連携のすすめ～」として、成果を報告しました。

また、HCD-Netと(株)三菱総合研究所との共催セミナー「自社ビジネスの変革ドライバーとなるデジタル人材・組織をいかに作り上げるか～「人間中心設計」が導くこれからの企業革新～」を企画し、経営層を対象にHCDの導入を推進する活動を行いました。

【中間層向け(+現場向け)支援委員会】

HCDの組織導入で起こりがちな問題・原因・解決方法をパターン・ランゲージの手法を用いて可視化・共有・活用するワーキンググループ「HCD導入パターンWG」を発足し、「HCD導入あるある」の洗い出しを行い、導入パターンへのまとめ、選定作業を進めました。HCD研究発表会では、その内容をポスター発表で報告しました。

【関連団体連携委員会】

(一社)UX設計技術推進協会(UXDQ)との共催でエンジニアを対象としたセミナー「ユーザー体験価値を設計要件として定義しマネジメントするUX設計技術とは」を京都・名古屋・東京で開催。また、小樽商科大学の平沢尚毅先生によるセミナー&ワークショップ「ユーザー体験価値をユーザー要求事項としてどのように設計要件につなぐか」を東京で開催しました。ソフトウェア/システム開発領域へのUXの広がり推進する機会となりました。

(一社)重要生活機器連携セキュリティ協議会(CCCS)と連携したセキュアUI-WGでは、チームビルディングのためのカードゲーム「USBモデルカードゲーム」を開発し、ET & IoT Technology 2019で公開。その後ワークショップを実施しました。今後の利用拡大が期待されます。

【利用品質メトリクス委員会】

利用品質メトリクス開発ワークショップを開催。特急券購入サイトを題材に、ユーザー要求定義からメトリクスを導出するプロセスを体験しました。東海大学辛島研究室のゼミではワークショップの内容に沿って、UI改善案を作成しました。また「利用品質メトリクス談話会」を2回開催し、メトリクスに関する情報交換を行いました。

「HMI性能公的評価制度(仮称)検討会」では、AI社会の安全・安心を確保するため、自動運転車、自動運転社会におけるサービスを念頭に置き、HMI性能の公的な評価指標の必要性、および制度化に向けた議論をスタートさせました。

2019年度は各委員会ともに、ここ数年の活動が実を結び、成果の多い年となりました。また、HCD/UXDのさらなる浸透に向けた新たな取り組みも始まり、各委員会で活動の方向性も明確になってきました。次年度以降は事業部全体の活動スキームを見直し、世の中の動向・要求を見据えたアクションを起こしてまいります。



要件定義セミナー・ワークショップ



多職種チームビルディングカードゲーム体験ワークショップ



利用品質メトリクス開発ワークショップ



研究事業領域

研究事業部のミッションは人間中心設計に関する研究活動の活性化を図ることです。具体的には研究成果の発表の場として、研究発表会を年2回開催するとともに、機構誌を発行しています。また機構誌に掲載する研究論文の査読プロセスを担う編集委員会を運営しています。さらに研究活動の場としてSIGのサポートをしています。

※：事業部委員についてはサイトをご覧ください <https://www.hcdnet.org/organization/organization/hcd-975.html>

2019年度の活動

● HCD 研究発表会

春(6月1日)は芝浦工業大学芝浦キャンパスにて開催され、13件(口頭9件、ポスター4件)の研究発表が行われました。優秀講演賞には近藤恭代氏ら(ヤフー株式会社)の「メンター制によるHCD/UXD 人材育成の取り組み」、優秀ポスター賞には由井真波氏ら(有限会社リンク・コミュニティデザイン研究所・成安造形大学)の「小さな現場のためのデザインプロセスモデル-カタチ・価値・動機の3視点から-」が選ばれました。冬(11月30日)はForum2019とともに東海大学高輪キャンパスにて開催され、20件(口頭5件、ポスター15件)の研究発表が行われました。優秀講演賞には飯塚重善氏ら(神奈川大学・横浜市立大学)の「大学病院来院者の待ち時間における心理分析」、優秀ポスター賞には富崎止氏ら(HCD-Net HCD 専門資格認定センター 基礎知識認定資格検討ワーキンググループ)の「人間中心設計の基礎知識体系と人材育成」が選ばれました。

● 機構誌を発行

1号には査読付き論文3編を掲載し、2号にはNigel Bevan氏を追悼した特集号として、追悼記事5編を掲載しました。また機構誌をJ-STAGEに収録するための申請が認められ、現在、2019年15巻1, 2号を収録、公開しています。

※：<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/hcd/-char/ja>

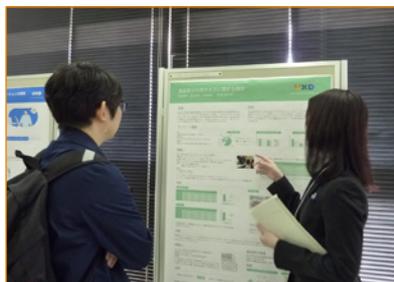
● SIG 活動

SF映画SIGは人工知能学会および冬のHCD研究発表会にて口頭発表を行いました(計2件)。またForum2019にてフォーラム参加者向けに、SIGでの分析手法を体験してもらうオープンミーティングを実施しました。社会基盤とHCDをつなぐ数少ない国内の場である社会基盤SIGは「防災」関連研究の勉強会、「防災とインクルージョン」の意見交換会をウェブ会議にて開催し、「ビジョンデザインワークショップ-社会環境変化から着想する-」をForum2019にて開催しました。

研究事業部は 例年以上に皆さまの研究活動の活性化をサポートできたと思いますが、さらなる研究活動の活性化を図るためには人的資源の不足を感じています。研究事業部では活動に新たな風をもたらしてくれるメンバーを求めています。



口頭発表風景



ポスター発表風景



優秀講演賞受賞風景

西 関西支部

2013年1月25日の設立以来、関西を始めとする首都圏以外の地域において、HCDの実践を促進することを目的にセミナーやワークショップを企画・主催しています。知識や技術を体系的に学べる階段型、多様な実践への道筋を学べる登山型、それぞれの学びの場を提供していきたいと考えています。

※: 事業部委員についてはサイトをご覧ください <https://www.hcdnet.org/organization/organization/hcd-975.html>

2019年度の活動

● イベント開催

【階段型】

- ・人間中心設計とUXデザインワークショップ(青森開催)
- ・製品開発における人間中心設計実践ワークショップ(2回開催)
- ・不便益とHCD ～不便から始まる新しい価値づくり～
- ・中身が伝わるパワーポイント作成講座:8つのデザインルールと図解作成方法

【登山型】

- ・HCD-Net 関西フォーラム2019「HCDのキャズムを越える」
- ・合宿形式で学ぶ、写真KJ法ワークショップ(愛媛開催)
- ・UXの実践と深淵 ～HCD事例発表会 + Future Experience(FX)フォーラム～
- ・研究会「海外ユーザー調査の事例・ノウハウ」
- ・様々な職業の人と語る会(4回開催)
- ・レトロゲームからUXを学ぶ会

【子供向け】

- ・子供の『発想力』を鍛えるデザインワークショップ!(4回開催)

「KJ法」は、HCDの根幹に関わる深い学びを得ることができるため、今後も力を入れていきます。「様々な職業の人と語る会」は、HCDのプロセスなどに限定せず、人間中心の本質に迫る内容が参加者に好評ですので、継続して開催していきます。また、将来を見据えて子供向けのイベントも増やしていく予定です。

● 発表

- ・UXデザインにおける2つのキャズム(デザイン人間工学報告会)
- ・お客様に満足していただくソフトウェアを開発するには?(SWEST21)

HCDプロセスの「ユーザーの要求事項の明示」と「解決策の作成」の間にはキャズム(溝)があります。それを埋めるためにデザイナーと設計者が一緒になって、要求を満たす解決策を考える必要がありますが、まだまだソフト設計者にはHCDが浸透していないようです。今後もエンジニアに対する啓発活動を続けていきます。



KJ 法合宿



関西フォーラム



ワークショップ

✓ HCD 専門資格認定センター

HCD 専門資格認定センターは、「人間中心設計専門家」と「人間中心設計スペシャリスト」の資格制度を運営しています。資格制度が始まって10年を超え、過去の認定者は合計で約980名となります。

● 概要

- ・実績に基づく試験のため、スキルを客観的に証明できます。
- ・受験者にとっては、企業内で評価されやすい資格となります。
- ・企業にとっては、人材のスキルについて、第三者の客観的な保証を得ることができます。

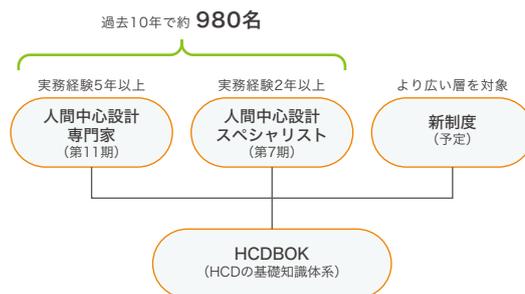
2019年度については、「人間中心設計専門家」は「第11期」、「人間中心設計スペシャリスト」は「第7期」の認定試験を行いました。受験者は毎年、二桁伸長を続けており、産業界からの注目の高まりを感じるとともに、UXデザインやHCD分野において有用性のある資格としての存在感を確立しています。

春には、行政の調査レポートに、資格のコンピタンスが大きく引用されました(※1)。

当センター内の「基礎知識認定検討ワーキンググループ」では、HCDのより普遍的な体系化を目指して「HCDBOK(人間中心設計の基礎知識体系)」(Ver.1)をまとめました。これを基に、今後より幅広い層を対象にした研修や、必要に応じた資格試験を行っていきます。

※1: 行政におけるデザイン思考の推進に向けた人材育成に関する調査研究 <https://www.iais.or.jp/reports/labreport/20190331/designthinking2018/>

※: 事業部委員についてはサイトをご覧ください <https://www.hcdnet.org/organization/organization/hcd-975.html>



🏆 アワード表彰委員会

一年のブランクを経て、本年度より新たに賞のコンセプト、審査視点、審査プロセスなどをトータルに見直し再始動となりました。

【賞コンセプト】

HCD-Netのアイデンティティ「プロたちのナレッジ共有の場」にシンクロさせ、成果だけに限定しない「共有価値の高いナレッジ・ノウハウを賞とすること」としました。併せてHCDに関わる幅広い層が応募しやすいこと、応募内容を活用できることも考慮しました。

【活動内容】

2019年6月18日 応募受付開始 / 2019年9月11~30日 一般公開 / 2019年11月10日 最終審査会 / 2019年11月29日 HCD-Netフォーラムにて受賞者を発表

【受賞】

〈最優秀賞〉当事者を主体者に変える、「動機のデザイン」とプロセスモデル(有限会社リンク・コミュニティデザイン研究所 [1]・成安造形大学 [2] / 由井 真波 [1] [2]、小野 文子 [1])

〈優秀賞〉①: ホワイトボード上で動かせるイラスト集「べたべた会議」(富士通デザイン株式会社 / 加藤 正義)

〈優秀賞〉②: インクルーシブデザインから生まれた体験型エンタテインメント(ソニー株式会社 / 西川 文、武上 有里、西原 幸子、津田 崇基)

〈優秀賞〉③: 生活者主体の持続可能な価値循環モデルを生み出すアクティブワーキング(株式会社インフォバーン 木継 則幸、白井 洸祐 / 株式会社イミカ 原田 博一)

〈審査員特別賞〉(「ユーザーを見つめてうれしい体験」を企画する)ビジョン提案型デザイン手法(日本人間工学会アーゴデザイン部会 / 上田義弘、郷健太郎、高橋克実、早川誠二、柳田宏治、山崎和彦)



HCD-Net AWARD 2019のウェブページ https://www.hcdnet.org/practice/award/4th_award/

※: 事業部委員についてはサイトをご覧ください <https://www.hcdnet.org/organization/organization/hcd-975.html>

イベント一覧

2019年度は年度末に新型コロナウイルス(covid-19)の影響で1件のイベントを開催延期、1件のイベントを中止にしましたが、2件の研究発表会と2件のフォーラム、1件の連続セミナー、14件の単発セミナーを開催しました。セミナーは主に関東で開催し、一部東海や関西でも開催しました。これに加えて、オンラインで開催したセミナーもあり、より多くの人に参加していただけるよう工夫をしています。

HCD広めたい人Meetup vol. 4

2019年5月24日(金)
会場:株式会社JVCケンウッド・デザイン
安浩子氏(日本電気株式会社)による「本場d.school体験談!」を始め、テーマを絞ったライトニングトークと車座トーク

2019年度春季HCD研究発表会

2019年6月1日(土)
会場:芝浦工業大学
口頭発表セッションとポスター発表セッション

UXデザイン概論(2019年UXデザイン連続セミナーStep0)(名古屋開催)

2019年6月15日(土)
会場:ウインクあいち(愛知県産業労働センター)
安藤昌也氏(千葉工業大学)による講演と連続セミナーの説明

不利益とHCD～不便から始まる新しい価値づくり～

2019年7月12日(金)
会場:グランフロント大阪 ナレッジサロ
川上浩司氏(京都大学大学院)による講義

「HCD専門資格コンピタンス知識編『ユーザー調査・概論』」

2019年7月18日(木)
会場:株式会社アイ・エム・ジェイ 本社
太田文明氏と吉田実央氏(株式会社アイ・エム・ジェイ)による「ユーザー調査計画」や「ユーザー調査実施」の講義

理解のデザイン ～情報アーキテクチャ設計入門～

2019年7月29日(月)
会場:DMM.comグループ セミナールーム
長谷川敦士氏(株式会社コンセント/武蔵野美術大学)による情報アーキテクチャに関する講義

HCD専門資格コンピタンス知識編「ユーザービリティ評価・概論」

2019年8月6日(火)
会場:芝浦工業大学
伊藤泰久氏(オムロン エキスパートリンク株式会社)、人見幸香氏による講義
「専門知識に基づく評価」(講師:伊藤泰久氏)
「ユーザービリティテスト」(講師:人見幸香氏)

オンラインセミナー:ユーザービリティテスト入門～はじめの一歩

2019年8月29日(木)
会場:中央大学市ヶ谷田町キャンパス
和井田理科氏(株式会社JVCケンウッド)によるユーザービリティテストに関するオンラインセミナー

「ユーザー体験価値をユーザー要求事項としてどのように設計要件につなぐか」

2019年9月2日(月)
会場:株式会社明電舎 大崎会場
平沢尚毅氏(小樽商科大学)による要求事項の定義の講義

HCD-Net関西フォーラム2019「HCDのキャズムを越える」

2019年9月7日(土)
会場:グランフロント大阪北館7Fナレッジサロン
上野学氏(ソノメディア株式会社)によるワークショップ
ムラタチアキ氏(京都造形芸術大学、METAPHYS、株式会社ハーズ実験デザイン研究所)、佐藤圭一氏(マツダ株式会社)、水島弘史氏(水島弘史調理・料理研究所)、葉村真樹氏(東京都市大学総合研究所・大学院総合理工学研究所/パナソニック株式会社)の講義

利用品質メトリクス開発ワークショップ

2019年10月29日(火)～30日(水)
会場:芝浦工業大学
平沢尚毅氏(小樽商科大学)による小講義&ワークショップ

2019年度HCD-Net東海UXデザイン連続セミナー

2019年8月～11月
会場:ウインクあいち(愛知県産業労働センター)
井登友一氏(株式会社インフォバーン)による5回連続セミナー
8/31(土):UXデザイン概論とインタビューWS
9/14(土):KA法を用いた価値抽出～構造化手法
9/28(土):カスタマージャーニーマップとサービスブループリント
10/19(土):ジャーニーマップのブラッシュアップとIdeation
11/9(土):プロトタイプング

第78回HCD-Netサロン「子どものUXデザイン～子どもを対象とした調査について考える～」

2019年11月15日(金)
会場:amu
季里氏(女子美術大学)による講義「子供向けサービスの行動調査」とワークショップ「子供向けワークショップの体験と設計」

情報構造の設計・演習

2019年11月16日(土)
会場:中央大学市ヶ谷田町キャンパス
メイン講師:伊原力也氏(freee株式会社)
情報構造の設計に関する講義と演習

HCD-Netフォーラム2019

2019年11月29日(金)～30日(土)
会場:東海大学 高輪キャンパス
基調講演と HCD-Net AWARD 表彰式、パラレルセッション

2019年度冬季HCD研究発表会

2019年11月30日(土)
会場:東海大学 高輪キャンパス
研究発表セッションとポスター発表

多職種チームビルディングツール、「USBモデル」実践カードゲーム体験ワークショップ

2019年12月3日(火)
会場:芝浦工業大学
山口恒久氏(HCD-Netビジネス事業部)と大橋正司氏(モニカ株式会社)によるUSBモデルの講義とワークショップ

プロトタイプングとインタビュー実習

2019年12月14日(土)
会場:ウインクあいち(愛知県産業労働センター)
井登友一氏(株式会社インフォバーン)による「パーフェクトウォレットワークショップ」と「問いを立てる演習」、「インタビュー実習」

「HCD-人間中心設計」入門セミナー in 福岡

2019年12月19日(木)
会場:DIAGONAL RUN FUKUOKA
中村隆俊氏(株式会社ふくおかフィナンシャルグループ)による「HCD-人間中心設計」の基本や考え方を始め、ユーザービリティやHCDの効果などのセミナー

HCD専門資格コンピタンス知識編「ユーザーによる評価 ～コンセプト検証～」

2019年12月24日(火)
会場:ワイム貸会議室市ヶ谷
伊藤泰久氏(オムロン エキスパートリンク株式会社)、坂口和敏氏(富士通デザイン株式会社)によるコンセプト評価に関する講義

UXの実践と深淵～HCD事例発表会+Future Experience(FX)フォーラム～

2020年1月14日(火)
会場:株式会社島津製作所 研修センター
研究発表5件と事例発表4件

中身が伝わるパワーポイント作成講座:8つのデザインルールと図解作成方法

2020年1月27日(月)
会場:NTT Communications Wor-X BASE
中内淑文氏(株式会社ユニックスデザインオフィス)によるパワーポイント作成講座&ワークショップ

第7回メトリクス談話会～利用品質メトリクス情報交換会～

2020年2月19日(水)
会場:明電舎大崎会場
平沢尚毅氏(小樽商科大学)、松本啓太氏(富士通デザイン株式会社)、神野昌和氏、杉本幸洋氏(富士通株式会社)

第79回HCD-Netサロン「AWARD2019年最優秀賞『動機的设计』発案者にいろいろ聞いてみよう!

2020年3月4日(水)
会場:amu
由井真波氏(有限会社リンク・コミュニティデザイン研究所、成安造形大学)・小野文子氏(成安造形大学)
※新型コロナウイルス(covid-19)の影響により、開催を中止いたしました。

【UXDQ共催セミナー】「ユーザー体験価値をユーザー要求事項としてどのように設計要件につなぐか」

2020年3月4日(水)
会場:京都 株式会社島津製作所 本社 研修センター京都
平沢尚毅氏(小樽商科大学)
※新型コロナウイルス(covid-19)の影響により、開催を中止いたしました。

HCD-Net フォーラム

2019年のHCD-Netフォーラムは、「Reiwanovation ～社会課題を解決する令和のイノベーション～」と題して11月29、30日の2日間にわたり開催されました。200名以上の方が参加し、製品やビジネス開発における意味のイノベーションや、SDGs(持続可能な開発目標)に代表される社会を変革するイノベーションへのHCDの役割を考える貴重な機会を提供しました。

フォーラム開催報告

● 11月29日

HCD-Net 理事長の篠原稔和氏の司会によるオープニングパネルでは、HCD-Netを代表するリーダー達による業界の最新動向が紹介されました。

続く4件の基調講演では、HCDが普及する中で、その次のフェーズとも言える「意味のイノベーション(デザイン・ドリブン・イノベーション)」を企業の製品開発やマーケティングに取り入れることの重要性や、国連が提唱するSDGsに代表される社会を変革するイノベーション、新たな社会や経済の仕組み、文化を考えるサステナブルなデザインについて発表いただきました。

【基調講演】

- ・本條晴一郎氏『意味のイノベーションと消費文化』
- ・福島治氏『世の中に無いサービスをデザインして、障がい者の収入をつくる』
- ・東信和氏『新規事業・新商品開発における10のツボ』
- ・益田文和氏『Inclusivity and SDGs』

また、令和元年を記念して、HCDの普及に貢献した団体として「総務省・行政管理局」の特別表彰と、総務省・行政管理局の大西一禎氏による「政府におけるHCD推進活動とHCD-Netへの期待」と題した記念講演が行われました。学術奨励賞表彰式、HCD-Net AWARD2019表彰式では、優れたHCDの活動を行った方々への表彰と活動が紹介されました。

● 11月30日

午前中は3件のパラレルセッションにおいて、ワークショップ形式での学びやオープンな場での語り合いが行われました。

【パラレルセッション】

- ・ビジョンデザインワークショップ – 社会環境変化から発想する
- ・SF映画SIG オープンミーティング ～SF映画SIG 2.0に向けて～
- ・論文の書き方セミナー

午後の2019年度冬季HCD研究発表会では、口頭発表5件、ポスター発表15件が行われ、100名程度の方が参加されました。スペシャルセッション「15歳が世界に向けて発信するSDGs」では、晃華学園(東京都調布市)の高校1年生14名の皆さんが登壇。学内でのSDGsへの取り組みを発信する目的で制作した60秒間の自作映像2作品と、活動の様子や映像制作の工夫点などを紹介いただきました。

※: 詳細は、「HCD-Netフォーラム2019開催レポート」をご覧ください。

1日目 <https://www.hcdnet.org/hcd/event/entry-1418.html>

2日目 <https://www.hcdnet.org/hcd/event/entry-1419.html>



実行委員長による開催趣旨説明



HCD 普及貢献団体特別表彰 (総務省様)



ビジョンデザインワークショップ
– 社会環境変化から発想する –

主なセミナー

HCD 専門資格コンピタンス知識編

HCD-Netでは、本年度より人間中心設計専門家として知っておくべき基礎知識の講座を3回にわたって開催しました。この講座はHCDコンピタンス(※1)の基本となる定番知識を学ぶためのもので、これから人間中心設計専門家・人間中心設計スペシャリストを目指す方だけでなく、「知識を深めたい」、「学び直しをしたい」といったすでに人間中心設計専門家・人間中心設計スペシャリストとして活動している方も対象にしています。

「ユーザー調査・概論」(2019年7月18日)(※2)

「ユーザー調査計画」や「ユーザー調査実施」の基本的な知識について学びました。
講師: 太田文明氏、吉田実央氏(株式会社アイ・エム・ジェイ)



「ユーザビリティ評価・概論」(2019年8月6日)(※2)

「ユーザーによる評価」のうちユーザビリティテストおよび「専門知識に基づく評価実施能力」について、ユーザビリティ評価の全体像を体系的に学びました。
講師: 人見幸香氏、伊藤泰久氏(オムロン エキスパートリンク株式会社)



「ユーザーによる評価 ～コンセプト検証～」(2019年12月24日)(※2)

ユーザーによる評価のうち、特にコンセプト評価について学びました。
講師: 伊藤泰久氏(オムロン エキスパートリンク株式会社)、坂口和敏氏(富士通デザイン株式会社)

※1: HCDコンピタンスマップ(2019年度) https://drive.google.com/file/d/102tC6DZu7YFogf0swmgian6_xniQhqsF/view

※2: 詳細はサイトをご覧ください

「ユーザー調査・概論」開催レポート <https://www.hcdnet.org/hcd/event/entry-1323.html>

「ユーザビリティ評価・概論」 <https://www.hcdnet.org/hcd/event/entry-1337.html>

「ユーザーによる評価 ～コンセプト検証～」 <https://www.hcdnet.org/hcd/event/entry-1403.html>

2019年度 HCD-Net 東海 UX デザイン 連続セミナー

HCD-Net 東海支部では昨年度に引き続き、体系的にUXデザインを学ぶことができる連続セミナーを開催しました。インタビュー調査やペルソナの作成から、サービスを創り上げるまでのプロセスを一貫して学び、受講者が実務でUXデザインを実践できるようになることを目指しました。理事の井登友一氏に講師を担当していただき、3カ月にわたり全5回開催しました。

【Day 1】

「UXD 概論と実践的デプスインタビュー技法」(2019年8月31日)

【Day 2】

「価値の構造化とペルソナデザイン」(2019年9月14日)

【Day 3】

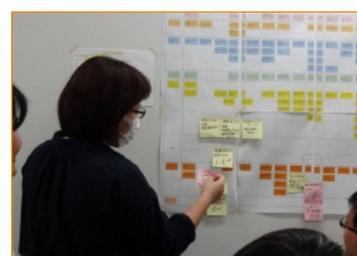
「ユーザー体験の俯瞰的な可視化によるアイデア発想手法」(2019年9月28日)

【Day 4】

「キーモーメントの策定・具体化とアイデアの拡張発想」(2019年10月14日)

【Day 5】

「プロトタイピングによるエバリュエーション手法」(2019年11月9日)



決算報告 2019年度活動計算書

書式第13号(法第28条関係)

科 目	金 額 (円)	小 計・合 計 (円)
【A】 経常収益		
1 受取会費		
正会員受取会費	9,852,000	
賛助会員受取会費	4,320,000	
学生会員受取会費	44,000	14,216,000
2 受取寄附金	0	
3 受取助成金等	0	
4 事業収益		
調査・研究事業収益	1,635,000	
人材育成事業収益	5,172,500	
普及・啓発事業収益	1,674,500	
開発事業収益	717,788	
規格化・認証事業収益	8,305,000	
国際事業収益	0	17,504,788
5 その他の収益		
受取利息	181	
雑収入	12,835	13,016
経常収益計		31,733,804
【B】 経常費用		
1 事業費		
(1) 人件費		
給料手当	3,936,074	
法定福利費	0	
福利厚生費	0	3,936,074
(2) その他経費		
外注費	3,194,519	
運営費	1,901,547	
支払手数料	573,434	
広報費	86,764	
旅費交通費	1,186,459	
通信運搬費	285,568	
消耗品費	556,012	
印刷製本費	296,436	
会議費	382,742	
諸謝金	6,150,566	
租税公課	707,700	
寄付金支出	83,860	
図書費	18,260	
雑費	9,000	15,432,867
事業費計		19,368,941
2 管理費		
(1) 人件費		
給料手当	2,970,662	
法定福利費	630,761	
福利厚生費	0	3,601,423
(2) その他経費		
支払手数料	309,133	
会議費	85,862	
旅費交通費	151,205	
通信運搬費	232,751	
消耗品費	192,294	
印刷製本費	19,141	
運営費	0	
賃借料	17,004	
租税公課	500	
委託費	1,303,621	3,255,111
雑費	943,600	6,856,534
事業費計		26,225,475
当期経常増減額【A】-【B】・・・①		5,508,329
【C】 経常外収益		
	0	
経常収益計		0
【D】 経常外費用		
	0	
経常収益計		0
当期経常増減額【C】-【D】・・・②		0
税引前当期正味財産増減額 ①+②・・・③		5,508,329
法人税、住民税及び事業税・・・④		70,000
前期繰越正味財産額・・・⑤		12,554,812
次期繰越正味財産額 ③-④+⑤		17,993,141

貸借対照表

書式第15号（法第28条関係）

科 目	金 額 (円)	小 計・合 計 (円)
【A】 資 産 の 部		
1 流動資産		
現金預金	21,782,466	
未収金	2,583,000	
前払金	3,850	
流動資産合計・・・①		24,369,316
2 固定資産		
(1) 有形固定資産	0	
(2) 無形固定資産	0	
(3) 投資その他の資産		
固定資産合計・・・②		0
【A】 資 産 合 計 ①+②		24,369,316
【B-1】 負 債 の 部		
1 流動負債		
未払金	5,887,971	
前受金	393,000	
預り金	95,204	
流動負債合計・・・③		6,376,175
2 固定負債		
	0	
固定負債合計・・・④		0
負 債 合 計 ③+④		6,376,175
【B-2】 正 味 財 産 の 部		
前期繰越正味財産額	12,554,812	
当期正味財産増減額	5,438,329	
流動資産合計・・・①		17,993,141
【B】 負 債 及 び 正 味 財 産 合 計 【B-1】+【B-2】		24,369,316

財産目録

書式第17号（法第28条関係）

科 目	金 額 (円)	小 計 (円)	合 計 (円)
【A】 資 産 の 部			
1 流動資産			
現金預金			
普通預金 三菱東京UFJ銀行渋谷支店	21,472,587		
Paypal口座	11,528		
普通預金 三井住友銀行神田支店	298,351	21,782,466	
未収金			
規格化・認証事業未収金	2,583,000	2,583,000	
前払金	3,850	3,850	
流動資産合計・・・①			24,369,316
2 固定資産			
(1) 有形固定資産		0	
(2) 無形固定資産		0	
(3) 投資その他の資産		0	
流動資産合計・・・①			0
【A】 資 産 合 計 ①+②			24,369,316
【B-1】 負 債 の 部			
1 流動負債			
未払金			
3月分給与	457,882		
3月分社会保険料	51,510		
審査員謝金	2,359,942		
認定証作成・発送費用	585,313		
業務委託費	1,459,029		
未払消費税等	383,200		
未払法人税等	7,000		
諸口	584,095	5,887,971	
前受金			
2021年・2022年資格維持費	393,000	393,000	
預り金			
源泉徴収税	95,204	95,204	
流動負債合計・・・③			
2 固定負債			
	0	0	
固定負債合計・・・④			0
【B-1】 負 債 合 計 ③+④			6,376,175
【B-2】 正 味 財 産 合 計 【A】-【B-1】			17,993,141

計算書類の注記

書式第16号（法第28条関係）

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準によっています。

(1) 消費税等の会計処理

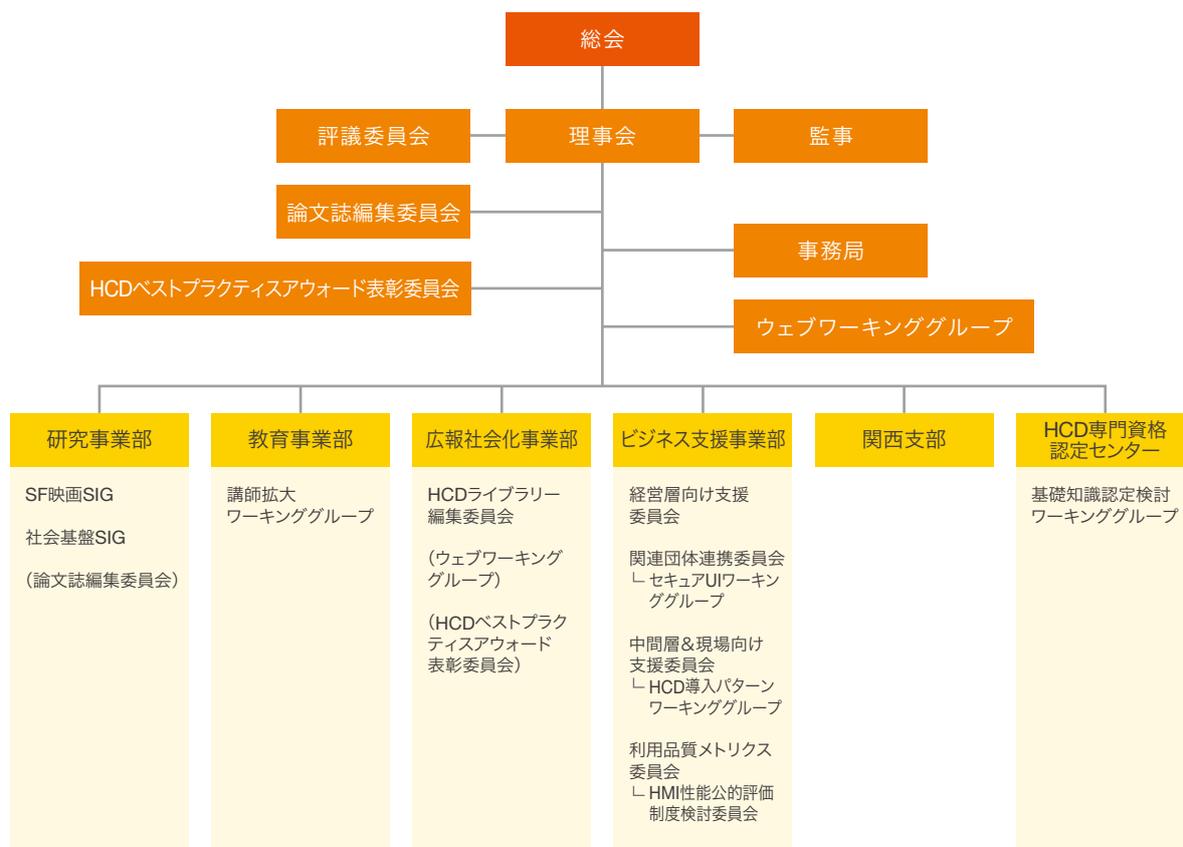
税込処理を行なっています。

2. 事業別損益の状況

(単位：円)

科 目	調査・研究 事業	人材育成 事業	普及・啓発 事業	開発事業	規格化・認証 事業	国際事業	事業部門計	管理部門	合 計
I 経常収益									
1. 受取会費	0	0	0	0	0	0	0	14,216,000	14,216,000
2. 受取寄附金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3. 受取助成金等	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4. 事業収益	1,635,000	5,172,500	1,674,500	717,788	8,305,000	0	17,504,788	0	17,504,788
5. その他収益	0	0	0	1,000	0	0	1,000	12,016	13,016
経常収益計	1,635,000	5,172,500	1,674,500	718,788	8,305,000	0	17,505,788	14,228,016	31,733,804
II 経常費用									
(1) 人件費									
給料手当	878,640	96,926	250,768	53,427	2,656,313	0	3,936,074	2,970,662	6,906,736
法定福利費	0	0	0	0	0	0	0	630,761	630,761
人件費計	878,640	96,926	250,768	53,427	2,656,313	0	3,936,074	3,601,423	7,537,497
(2) その他経費									
外注費	8,305	0	1,807,139	0	1,379,075	0	3,194,519	0	3,194,519
運営費	401,354	823,927	258,779	135,245	282,242	0	1,901,547	0	1,901,547
支払手数料	108,675	324,044	118,748	19,899	2,068	0	573,434	309,133	882,567
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
広報費	43,780	0	0	0	42,984	0	86,764	0	86,764
旅費交通費	12,368	391,954	203,085	462,090	116,962	0	1,186,459	151,205	1,337,664
通信運搬費	29,363	11,328	47,156	630	197,091	0	285,568	232,751	518,319
消耗品費	43,574	7,282	1,280	24,189	479,687	0	556,012	192,294	748,306
印刷製本費	105,133	11,019	138,714	0	41,570	0	296,436	19,141	315,577
会議費	0	0	204,728	0	178,014	0	382,742	85,862	468,604
賃借料	0	0	0	0	0	0	0	17,004	17,004
諸謝金	212,685	2,317,169	800,074	349,561	2,471,077	0	6,150,566	0	6,150,566
租税公課	66,101	209,119	67,698	29,020	405,762	0	777,700	500	778,200
図書費	0	0	18,260	0	0	0	18,260	0	18,260
寄付金支出	0	0	83,860	0	0	0	83,860	0	83,860
委託費	0	0	0	0	0	0	0	1,303,621	1,303,621
雑費	0	0	0	0	9,000	0	9,000	943,600	952,600
その他経費計	1,031,338	4,095,842	3,749,521	1,020,634	5,605,532	0	15,502,867	3,255,111	18,757,978
経常費用計	1,909,978	4,192,768	4,000,289	1,074,061	8,261,845	0	19,438,941	6,856,534	26,295,475
当期経常増減額	△ 274,978	979,732	△ 2,325,789	△ 355,273	43,155	0	△ 1,933,153	7,371,482	5,438,329

組織図



役員一覧

理事長： 篠原 稔和 (ソシオメディア株式会社)

監事： 早川 誠二 (人間中心設計よろず相談)
八木 大彦 (公立はこだて未来大学)

副理事長： 長谷川 敦士 (株式会社コンセント)
水本 徹 (株式会社島津製作所)
吉武 良治 (芝浦工業大学)

【事務局】

事務局長： 中村 めぐみ
認定センター事務長： 松本 恭幸
財務担当： 篠原 稔和 (理事長)
ウェブサイト担当： 長谷川 敦士 (副理事長)

理事： 飯尾 淳 (中央大学)
飯塚 重善 (神奈川大学)
井登 友一 (株式会社インフォバーン)
加藤 公一 (ブラザー工業株式会社)
辛島 光彦 (東海大学)
河野 泉 (日本電気株式会社)
羽山 祥樹
森山 明宏 (ユーリカ株式会社)
山口 恒久 (株式会社明電舎)
和井田 理科 (株式会社JVCケンウッド・デザイン)
脇阪 善則 (日産自動車株式会社)

賛助会員の皆さま

株式会社アイ・エム・ジェイ
株式会社アイスリーデザイン
アシアル株式会社
株式会社イード
株式会社イトーキ
株式会社イマジカデジタルスケープ
株式会社インパス
インフォコム株式会社
SCSK株式会社
NECソリューションイノベータ株式会社
NECマネジメントパートナー株式会社
株式会社NTTデータ
株式会社NTTデータSBC
沖コンサルティングソリューションズ株式会社
株式会社オネスト
オムロンヘルスケア株式会社
京セラドキュメントソリューションズ株式会社
株式会社KDDI総合研究所
コニカミノルタ株式会社
株式会社コンセント
サンデン・アドバンステクノロジー株式会社
株式会社JVCケンウッド・デザイン
シー・キュー・シー株式会社
シスメックス株式会社
株式会社島津製作所
一般社団法人重要生活機器連携セキュリティ協議会

セイコーエプソン株式会社
株式会社 SOUSEI Technology
ソニー株式会社
株式会社TAM
株式会社デンソー
株式会社電通
株式会社電通国際情報サービス
株式会社電通デジタル
凸版印刷株式会社
トッパン・フォームズ株式会社
トピー・テクノロジー株式会社
株式会社ニコン
日鉄日立システムエンジニアリング株式会社
株式会社野村総合研究所
フェンリル株式会社
富士ソフト株式会社
富士フイルム株式会社
ブラザー工業株式会社
株式会社ミツエーリンクス
三菱電機株式会社
三菱総研DCS株式会社
村田機械株式会社
株式会社U'eyes Design
株式会社リコー
理想科学工業株式会社
横河計測株式会社

主要関連団体

- (一社)組込みシステム技術協会〈JASA〉
- (一社)重要生活機器連携セキュリティ協議会〈CCDS〉
- (独)情報処理推進機構〈IPA〉
- (一社)日本人間工学会 アーゴデザイン部会
- (一社)人間生活工学研究センター〈HQL〉
- (特非)ヒューマンインタフェース学会〈HIS〉
- (一社)ユニバーサルコミュニケーションデザイン協会〈UCDA〉

特定非営利活動法人 (NPO法人) 人間中心設計推進機構 事務局

〒162-0056 東京都新宿区若松町36-13
Modelia Colors 3F ソシオメディア株式会社内
e-mail: secretariat@hcdnet.org

www.hcdnet.org